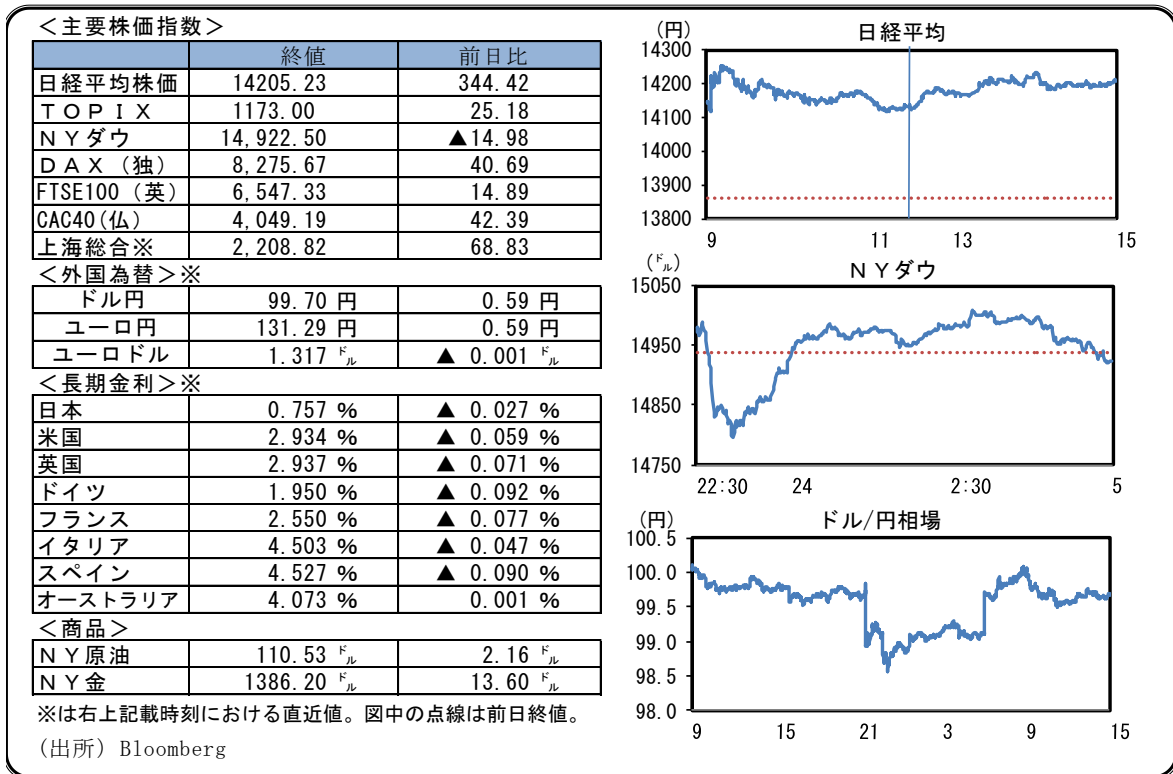


①アンバランスな雇用統計
②株高で、「お・も・て・な・し」

2013年9月9日(月)

第一生命経済研究所 経済調査部
藤代 宏一
TEL 03-5221-4523

15:07 現在



【海外株式市場・経済指標】 ～アンバランスな雇用統計～

6日の米国株式市場、NYダウ平均株価は小幅反落。前日比▲14.98^{ドル}の14922.50^{ドル}で取引を終了（S&P500は小幅上昇）。雇用統計を受けて売り買いが交錯した。

8月雇用統計によると、NFPは16.9万人増と市場予想（18.0万人）を小幅下回った。ヘッドライン（8月単月NFP）はさほど悪くは無いが、中身をみるとやや失望的である。まず、過去分が大幅に下方修正されたことだ（6.7月合計で7.4万人）。この結果、6ヶ月移動平均は16.0万人にまで低下し、2012年のNFP平均18.3万人を下回った。つまり、過去6ヶ月の間に雇用は加速していない。次に、失業率が労働参加率低下を主背景に7.3%まで低下したことだ。QE停止の目安とされる7.0%まで残り0.3%ptに迫り、Tapering開始はおろかQE停止まで視野に入ってしまった。これで「強すぎる失業率、強すぎず弱すぎずのNFP」という構図がより鮮明になってしまった。金融市場にとって良いニュースとは言い難い。

8月中国貿易統計によると、輸出は前年比+7.2%（前月：+5.1%、予想：+5.5%）、輸入は+7.0%（同：+10.9%、同：11.3%）となった。輸出は2ヶ月連続の増加。外需が中国経済の持ち直しをサポートしている様子が見て取れる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

